

小学校 第2学年 道徳科学習指導案		授業者：香美市立舟入小学校 山口優菜 児童数：20名 令和2年12月1日（火）5時間目	
【主題名】温かい心で優しくするとは 【親切、思いやり】低B－（6）		【教材名】 「ぐみの木と小鳥」（「生きる力2」日本文教出版）	
【本時のねらい】あらしの中飛び立っていく小鳥や、りすの心情を考慮を通して、親切にすると相手に喜んでもらえ、自分も良い気持ちになることに気が付き、困っている人に温かい心で優しく接しようとする心情を育てる。			
【指導の要点】相手の気持ちを考え、理解しようとすることや、手を差し伸べたり、励ましたりすることで、親切にした人もされた人も、そしてそれを見ていた周りの人もそれぞれが温かい気持ちになるものであるということについて考えを深めさせる。			
【主題に関わる児童の実態】 ・道徳意識調査での「人がこまっているときは、すすんでたすけている。」の項目で強い肯定的回答をしたのは62.9%であり、肯定的意見は91.4%と高く、誰かのために（友達、家族）何かをしたい、役に立ちたいと考えている児童が多くいると考えられる。 「ありがとうって言われたよ」の授業では、心の中がポカポカした、これからは困っている人がいたら助けたいなどの、親切にすることの心地よさに気付いている児童もいる。また、学級では、困っている人にすぐに手を差し伸べたり、泣いている人に寄り添い、話を聴いたりできる児童が多く、友達に対して優しい気持ちで接することができる。しかし、気の合う友達同士では日常的に親切な行動が見られるが、自分があまり関わらない人に対しては、親切にするかどうかの判断を自分中心に考えていることがうかがえる。		【授業を通して引き出したい児童の考え】 ・人に親切にすると嬉しい気持ちになる。 ・相手が喜んで顔を見ると嬉しい気持ちになって、心がポカポカする。 ・もっと人に親切にしたい。 ・困っている人がいたら助けたい。 ・また助けてあげたい。 ・人に優しくすると相手も自分も周りの人も幸せな気持ちになるんだね。 ・優しさはつながっていくんだ。 ・優しさは広がっていくんだ。	
指導上の工夫		板書計画	
自分自身との関わりで考えるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分自身の経験から、親切にしたこと、されたことについて考え、その時の気持ちを振り返らせる。 ・飛び立つ前の迷う小鳥について、自分だったらどんな思いをもつか想像させる。 ・終末では、親切にできた場面を写した写真を提示し、その時の気持ちを振り返らせる。 		
多面的・多角的に捉えるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の行ったことが、相手にとって、周りにとってはどうか等の発言を積極的に取り上げ、問い返しをし、多様な視点から考えさせる。 ・ぐみの実を届けてもらったりりすの気持ちと、届けた小鳥の気持ちを比較し、親切にした人もされた人も温かい気持ちになることを考えさせる。 		
授業の評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の親切な行動と児童自身のこれまでの生活をつなげられるような声かけや発問があったか。（自分自身） ・嵐の中飛び立っていく小鳥の気持ちを問う中で、主人公以外の視点に目を向けさせることや、葛藤をもたせる発問から三者の優しさに気付かせることができていたか。（多面的・多角的） 		
児童の評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを考え、優しく接することで相手の喜びを自分の喜びとして受け入れることについて考えようとしていたか。（自分自身） ・登場人物がお互いに行った親切な行為や温かい気持ちのつながり、広がりについて考えようとしていたか。（多面的・多角的） 		

【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	予想される児童の反応
導入	1. 親切にしてもらった経験を思い出す。（3分） ○親切にしてもらったことはありますか。 ・親切にされて嬉しかった思いを振り返り、ねらいとする価値への意識づけをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・消しゴムを落とした時に、拾ってくれた。 ・しんどい時にそばにいてくれた。 ・けがをした時に、「大丈夫」と声をかけてくれた。 ・休んだ時に、友達から手紙をもらって嬉しくなった。 ・給食当番の仕事を手伝ってくれた。
展開	2. 教材の範読を聞く（5分） ・ペープサートで登場人物の行動を示しながら範読し、お話の流れを把握しやすくする。 3. 教材について話し合う（15分） ○激しい嵐の中、なぜ小鳥はりすにぐみの実を届けたのでしょうか。 ・じっと考える小鳥の気持ちを想像し、葛藤する思いを考えさせる。 ◆嵐の中だととどりに着かないかもしれないし、ぐみの木も嵐がやんでからにしてくださいと言っているよ。 ◆けがをするかもしれないし、先生なら行かないと思う。 ◆小鳥はりすと出会ったばかりなのに、どうして優しくするのだろうか。 ・ペアで交流させ進んで親切にしようとした小鳥の多様な思いを引き出す。 ○喜んでるりすを見て、小鳥はどんなことを思っただろう。 ◆りすはどんな気持ちだっただろう。 ・親切はされた人だけでなく、した人の心も温かくすることに気付かせるようにする。 4. 自分のことを振り返る（15分） ◎人に進んで親切にできたときどんな気持ちになるか考えよう ・親切にしている場面の写真を提示し、これからの生活について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・やっぱりこわいな。 ・明日でもいいと思う。 ・自分がやらなくても誰かが届けてくれるかもしれない。 ・りすさんが心配だから。 ・お腹を空かせていると思ったから。 ・せっかく元気になってきたのに、また病気になってしまうかもしれないから。 ・もう友達になっている気がするから。 ・自分しか届けられないと思ったから。 ・小鳥が届けたいと思ったから。 ・りすさん、元気になって本当によかった。 ・親切にしてよかった。 ・大変だったけど喜んでくれてよかった。 ・いいことができたな。 ・心配だったから、良くなってよかった。 ・温かい気持ちになった。 ・りすさんの喜ぶ顔を見ていると、ぼくも心がポカポカになったよ。 ・嬉しい気持ち。 ・心が温かくなった。 ・気持ちがよい。 ・人に優しくすると相手も自分も幸せな気持ちになる。 ・相手が喜んで顔を見ると嬉しい気持ちになる。
終末	5. 本時の振り返りをする。（7分） ・道徳ノートに自分の考えを記入することを通して、今日の学習について振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・優しくすると、自分も気持ちよくなれることに気付いたから、色んな友達に優しくして、優しさを広げたいな。